
イナズマイレブン逃走中！

雪夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

イナズマイレブン逃走中！

【Nコード】

N1942P

【作者名】

雪夢

【あらすじ】

イナズマイレブンで逃走中をやってみたよ

風丸「ここは…」

涼野「お前達は…」

佐久間「何でここに…」

プロローグ

やあ。みなさん。

あなた方は選ばれましたので、これから始まるゲームに参加していただきます。

ゲームの名前は、

「逃走中」

テレビでみたことありますか？

その有名な逃走中をやって貰おうって訳なのです。

逃げ切った方には賞金100万円を差し上げます。

おや。そろそろ始まるみたいですね。

皆さんの健闘を祈ります。

では、またお会いしましょう…。

やあ！

筆者だを（＾　＾）

こんなテンションで始まった逃走中はどうなるのか…。

まあ、最後にPーが残るんですけるねWWW

次回からいよいよ始まりまふよ！！

…キャラ紹介がWWW

キャラ紹介

逃走者（10名）

松野空介

半田真一

風丸一郎太

佐久間次郎

源田幸次郎

涼野風介

南雲晴矢

基山ヒロト

緑川リュウジ

亜風炉照美

以上。

ハンター

吹雪士郎

不動明王

円堂守

他：

ミッション協力者

FFIチーム、FFチーム

以上れす！

因みに、

監督たちはでてきません

(・・・)

#書くことないけど、字数余ったから雑談のコーナー#

作者だよオオオオ!

菜亜「ちやーす」

日菜「遊びにきますた!」

呼んでみましたを!

盟柳「わからない人は「イナイレ×オリキャラトリップ!」を読んで見てね!」

千那「そろそろ字数足りたかな?」

愛奈「んじゃ、帰るね!」

はい。バイバイノシ

では、本編()()

始まり

「ん…。ここは？」

起きたら体育館みたいなところにいた…。

どこだ…。ここ。

『お目覚めですか。佐久間次郎さん。』

誰だ？ 聞いたことない声。 どこにいるんだ？

佐久間「っ！？ どこにいる！」

『ああ。そちらにはいないので探してもムダですよ。』

どういう意味だ…。

声はすぐそこからするのに…。

「佐、久間…？」

この声は…

佐久間「源田！ どうしたんだ？ 顔色悪いぞ…。」

『2人めが目覚めましたか。』

また声が聞こえたと思ったら源田が頭を抱えてしゃがみこんだ。

源田「いつ！」

佐久間「源田！？」

『』どつやら私の声が頭痛の原因のようですね。』

源田「っあ」

こんな源田はじめて見たから戸惑う。
どつしよっ…？

「ここはどこだ、晴矢」

「んなこと知るかよ！」

この声、会話は…

佐久間「涼野、南雲？」

涼野「ああ。佐久間じゃないか。ここはどこだ？」

佐久間「わからないけど…。ん？」

あれ…。この体育館らしきところ、来たことある！

南雲「どうしたんだ？」

佐久間「ここ、多分雷門中だよ！」

『正解。そこは雷門中の体育館です。』

声！ 源田は！？

あれ…さっきより調子良さそう？

『ああ。源田さんには声は聞こえていませんよ。』

佐久間「？」

『これからはじまるゲームに支障があるといけませんからね…。』

風丸「あれ…、佐久間達！」

松野「涼野にチューリップ！」

南雲「俺はチューリップじゃねえ！」

半田「全くマックスは…。」

松野「なんだよー。中途半田。」

半田「中途半田っ（亜風炉「やほーノノ涼野に南雲！」

半田「ヒドゥッ」

基山「やあ。皆」

緑川「何でこんなところにいるんだろう…。」

『さて、ゲームの説明を始めます。』

源田「…何のことだ。」

佐久間「あれ？ 源田大丈夫なのか？」

源田「ああ。」

『あなた方には今から「逃走中」と言うゲームをしてもらいます。
逃走者となるのはあなた方。
そして、ハンターが…』

風丸「円堂！」

円堂「あ！ 風丸！」

基山「吹雪くん！」

吹雪「やあ。皆ノノ」

不動「たく、めんどくせー」

佐久間「いやでもないんでしょ。」

不動「っせー！ / / /」

『最初はその3名です。ハンターはスタートから1分後にスタートします。逃げ切ったかたに賞金1000万円を差し上げます。まあ、実際にやってみてくださいよ。範囲は稲妻町。では、スタートです。』

逃走者1同「はあ!？」

吹雪「早く行かないと捕まえちゃうよー？」

基山「っ、マジかよ。」

#続く#

半田カメラ。(前書き)

半田目線―

松半フラグー？

ボカロオオオ！

半田カメラ。

はあ。なんかいきなり始まったよ…。

てか、制限時間は？

無いとか言わないよな？

あ…地図の裏に書いてあった。

「よくお気付きで。

気付いた貴方にはこの後のミッションで使う道具がある場所をお教えしましょう。」

ん？ えーっと、雷雷軒の中華鍋の中…。

の前に、制限時間が2時間!?

ええ(´・`・´)

携帯でYouTube見るか

言えない気持ちを卵とじお弁当にこめまして

ええ!?

着信音が卵とじい?

佐久源、源佐久、バンガゼ、佐久鬼www

じゃなくて、メールだ…とwww

「今から簡単なゲームをはじめめる。その間はハンターは止まってるので安心を。詳しい説明は雷門中グラウンドまで。」

はあ?

いきなりハンター停止ゲームキタコレk t k r

まあ、行くかな…。

「はーんぽー！」

「マックス！ 半端って言うな！」

でも、会えて嬉しい…とか言えないだろ！？

「雷門グラウンド行こう？」

「ああ。行くか。」

「てか、Gマートに居るとか何考えてんのW」

「どつ言つ意味だよ」

「えー？ 万引きWWW」

「するわけ無いだろ？W」

こんなやり取りをしていると、雷門中についた。

そこには、ええ？

円堂、吹雪、不動、鬼道、綱海？

ハンターと関係ない2人？

円堂「はーんだー！ マックスー！」

マックス「やつほーનો」

吹雪「じゃあ、また後でね」

はやつ。まあ、いいや。

マックス「半田、音楽聴く？」

マックスが出したのはミュージックプレイヤー。

半田「聴く。」

マックスがイヤホン片方渡して来た。
これ結構嬉しい／／／

バイバイサヨナラまたどこかで

マックス「バイビーベイビーサヨナラだったw」

巡り巡るこの季節

半田「桜前線異常ナシだな。」

とある言葉が君に突き刺さりk

「モザイクロール！」

マックス「ハモったw」

そんなことをしていると。

半田カメラ。(後書き)

今回は半田目線しか書きませぬ() () ()

次回へ続く!

ゲーム説明（前書き）

風丸目線

ゲーム説明

数分後逃走者、ハンター全員が集まった。

『では、ゲームの説明をはじめよう。』

このゲームは、ハンターVS逃走者代表で行うサッカーの試合だ。

3対3だからミニゲームと言っても過言ではないだろう。

15分間試合を行って貰う。

ハンターが勝てばハンターが増える。

逃走者が勝てば逃走者が増える。

ああ。言い忘れてたが、最後に逃走者が残って居ない場合はハンターが賞金を貰う形になる。

まあ、頑張ってくれ…。』

はあ？ 何て適当だろうっ…。

はアアアア。

風介「まずGKは、源田だろうっ？」

源田「そうだな。」

あとは：FWとDFがいればいいのか？ 3人だからMFが外しやすいな。

佐久間「DFは風丸がいいと思う。」

え、おれ？

風丸「わかった」

じゃあ、あと1人か。

源田「FW候補は？」

風丸「佐久間、涼野、南雲、基山ってとこ。」

緑川「一番バランスが取れた佐久間でよくないか？」

基山「そうだね。」

F W * 佐久間次郎
D F * 風丸一郎太
G K * 源田幸次郎

何か漢字の感じがいい感じだな W W W

ゲーム説明（後書き）

次回へ続くWWW

ゲーム開始

網海「審判俺がやるなっ！」

ハンターチーム

G K* 円堂守

D F* 不動明王

F W* 吹雪士郎

逃走者チーム

G K* 源田幸次郎

D F* 風丸一郎太

F W* 佐久間次郎

じゃあ、
「

ピーツ

【試合開始だ！

実況は俺、南雲晴矢と

私、涼野風介でおくるぞ。

まずは、逃走者チームが攻め上がりヨウ
貴様頭大丈夫か。佐久間の皇帝ペンギンだ。
決まった！

次はハンターチーム吹雪が攻める。

ウルフレジエンドだ！

が、決まらず。試合終了だ。

3分短っ

今さらか。

じゃあ、これで実況を終わるぜ！
またな。」

緑川「で、誰が増えるの？」

八神「私だ。」

基山「え、ウルビダ…？」

砂木沼「私も居る（佐久間「成神、辺見！」

砂木沼「（、・、・、）」

緑川「……ドンマイ。」

成神「あ、佐久間に源田先輩！」

辺見「先輩に呼び捨てはやめようか。」

成神「うるせえ。黙れデコ。」

佐久間「何故来たデコ、帰れ。」

源田「成神、佐久間には許可とったのか？」

成神「とりましたよ。」

佐久間「許可した。」

成佐久「てな訳で死ぬデコオオオ！」

辺見「（、・・・）シヨボーン」

成神「うわwwwきもいw」

佐久間「じゃ、逃走始めようかwww」

『逃走、スタートです。』

こうして仲間が4人増えた逃走者チーム。

1人女の子が入ったけど、ウルビダなら大丈夫だよ…ね

再び逃走開始（前書き）

すっげーB.Lだ（・・）

おう。最初は普通なんだが、最後のほうB.Lだ

再び逃走開始

照美目線

僕は今、逃げている。
当たり前だけどね。

どっかに隠れられる場所は……。

あ、サッカー部室のかくし扉の下の部屋！

入れるかなあ？

よし。飛んでく！

うーん…あ、半田君はGマートが好きなのかな？
今入っていったからね。

て言うかさ、飛ぶってあり…？

ま、いいか。

僕は神だからねWWW

さてと、部室到着

ガチャ。

あ・い・た W

お邪魔しまーす W W W

さてと、かくし扉はー、

あ・い・た

よし。ここならいいでしょ W

Q・ここから動かないんですか？

まあね。動かないと思うよ。

Q・これじゃあ、かくれんぼですよ？

いいんじゃない？

あいてたのがいけないと思う。

Q・見つかったらアウトじゃないですか。

大丈夫。「あれ」がある。

Q・え、あれって？

秘密！

見てからのお楽しみだよ。

アフロディの「あれ」がわかった人いそうWWW

成神目線

俺は今、デコと歩いてる。

何故かって？

ほら、今円堂が来ただろ？

こつするんだよ！

成神「辺見を百烈ショット！

くらえ、円堂！

辺見のデコビームWWW」

今やりましたけど、こつやって、デコを飛ばすんです。

ほら、円堂慌てて横路はいつて行きましたWWW

「なつ成神！ 今のマジで死ぬ！」

辺見じゃなくて、デコが叫んでますよ？

ハンターを呼んでるようなもんなのに。

馬鹿だなWWW

八神目線

何で私がこいつらと一緒に歩いてるんだ？

その理由は簡単。

「ヒロト！ リュウジとか、治とか引き連れてついてくるな！」

「えー。だってウルビダだったらハンター倒しちゃいそうだから、心強くなって」

「黙れ。クソビッチ。」

「ね、今のうちどっかいかない？」

「そうだな。」

ちなみに説明すると、

ウルビダとヒロトは言い争い…？

リュウジとオサムは今のうちどっかに逃げようとしています。

ダメだ。こいつと話してもラチがあかない。

リミッター解除っ え

全速力をこえた全速力で走って逃げた。

無事1人になれたんだな。

1つ達成感を感じていた。

半田目線

いや。万引きとか考えて来てるわけじゃないんだぞ？

ただ、見つかったら棚を壊そうとか、捕まったら弁当買って食べようとかしか思っていないからな？

棚を壊すのはやめよ…。

松野目線

あーあ。半田Gマート行っちゃったし、隣いるのは風丸だし？

「マックス。円堂だ。」

キャプテンか。キャプテンなら捕まらないな。

「逃げようか。風丸？」

「ああ。」

そういつと僕は烈風ダッシュを使う。

こういうときは超次元らしく技つかっちゃえWWW

「風丸ー！ マックスー！」

「え、円堂！？」

「キャプテン、それ以上近づかないで！」

「？ わかった。」

サッカー馬鹿のキャプテンらしいなWWW

「じゃあ、またな！」

えWWW

キャプテン帰っちゃったW

「風丸ー。僕達逃走していいんだよね？」

「ああ。いいんだと思う？」

ダメだWWW

混乱してきたWWW

源田目線

あのさ、佐久間。

これ、逃走中なんだぞ？

佐久間が楽しいならいいんだが、ペンギン見つけるたびに立ち寄ってたら、すぐに捕まるんじゃないか？

「源田ー！ ペンギンさん！」

「ああ。可愛いな。」

でも、案外こっちの方が見つかりにくいのかも知れないな。

南雲目線

俺はいま風介と歩いてるわけなんだが…。

何でこんなしらけてる！？

風介機嫌でも悪いのか？

涼野目線

晴矢と一緒に歩いているだけですごく…緊張するんだ。

緊張し過ぎて何話せばいいかわからないぞ！？

ど…ど…ど…。

再び逃走開始（後書き）

次回へ続く

確保：

「全く。走らないの？」

そんな声が聞こえた。

振り返ると…

吹雪だ。

厄介なハンターに出会ってしまった。

「容赦なく捕まえにくからね？」

緑川君？

砂木沼君？

スタート。」

「走れ、砂木沼！」

「私はいいから、緑川逃げろ！」

私は時間を稼ぐ！」

「で、でも！」

「いいから、緑川逃げろ！」

「わ、わかった！」

「ははっ。直ぐに捕まえてあげる。」

「緑川は捕まえに行かないな？
行かないなら捕まえてくれ。」

「はあ。わかったよ。」

「はい。確保。」

「…ありがとう。」

逃走者全員の携帯がなる。

「逃走者1名確保。」

“砂木沼治”

駅前で確保。

頑張ってくれ

」

？「ここからが本番なんですね。」

？「全く。どうなるのかと思ったわ。」

？「でも、皆らしいじゃない。」

？「そうですね。」

確保：（後書き）

続け！

休憩タイムなり

作者) みんな!

作者だを^ ^

涼野「きもい。」

作者) 知ってるをー

半田「てか何? 俺のキャラ!」

作者) 中途半田。

南雲「マジで休憩とかタヒWWW」

作者) ひどい! なぐもんがいじめるWWW

亜風炉「黙ろつか!」

作者) 君がね。バカ

風丸「来たよ。作者の暴走」

作者「僕は元々壊れてるもん。」

源田「ダメだろwww」

佐久間「源田の言う通りだぞwww」

辺見「で、咲山の出番はあるのか？」

作者「www」

ああ、あ（）（）黙

成神「えwww」

咲山「では、続きをどうぞ。」

休憩タイムなり

(後書き)

続きをどうぞ W W W

メール

『ミッションを与える。』

今から30分間の間に、何処かにいるマネージャー全員の願い事を叶える。

ミッションがクリア出来なかった場合は、

ハンターが増える。

クリア出来た場合は、

逃走者が増える。

前回と同じ感じで頑張ってくれ。』

ミッションに参加しますか？

亜風炉「しない！」

風丸「俺？ やろうかな。」

松野「んー。願い事聞いて出来たらやる。」

半田「やるー、かな？」

成神「やりますよwwね？」

辺見「強制参加…；」

緑川「え？ 近くに居たらやるのかな。」

八神「や、やるけど…。」

基山「やるよ^p^」

涼野「…やるよ。私は。」

南雲「じゃあ、俺も。」

佐久間「やー、らない！」

源田「一応やるのかな。」

メール(後書き)

次回はミッション開始っ。

ミッション(前書き)

あつ
けな
WWW
WWW

ミッション

松野「ん、あれ？

久遠さんだっけ？」

冬花「あ、こんにちは。」

松野「願い事ない？」

冬花「願い事…ですか？

うーん。今は取り敢えず、そこにいるエドガーさんをどっかにやってほしいです。」

エドガー「冬花さん！」

松野「はあ。黙ろつ。エドガーじゃなくて、エロガーさんｗｗｗｗ」

エドガーじゃなくて、エロガーに2000のダメージw

エロガーをひきずる！

エロガーに2500のダメージw

エロガーにレボリューションV

エロガーは吹っ飛んだ。

松野「はい！ 倒したよ！」

冬花「あ、ありがとうございます。よかったです…この紙を。」

松野「ありがとうございます！ じゃ、またね！」

冬花「はい。」

松野 空介 ミッションクリア 久遠 冬花 の願いを叶
えた ミッションクリア

半田目線

半田「いないな。ん？ マックスだ。」

松野「あ、半田！ いくよ。」

半田「え!?!」

「レボリユーションV!」「」

松野「ありがとう、半田。またね!」

マックスにいきなり話しかけられ技使い、そして今、木野を見つけた。

「よお! 木野っ」

「あ、半田くん。」

「願い事はねーか?」

「じゃあ、このユニフォームを干すの手伝ってくれるかなあ?」

「わかった!」

干してると、あれ…。
田堂?

ハンターやばっ！

円堂だからいいか。

取り敢えず、気付かれないようにっ！

よし！ 通り過ぎた！

「ありがとう。もういいよ。じゃあ、お礼にこの紙あげる！」

「ん。ありがとう。」

「うっん。じゃ、またね！」

「おっ！」

半田 真一 ミッション クリア
えた ミッション クリア

木野 秋 の願いを 叶

成神「行きますよー。先輩。」

辺見「ああ。」

成神「お、音無さんだっけ？」

春奈「あ、成神くん！」

成神「願い事ある？」

春奈「んー。」

不動「よお。成神、辺見。」

辺見「不動！？」

成神「ジャツジスルー！」

辺見「ガハッ！」

ドンッ。 ドサ！

不動「ん!？」

成神「あ、やっちゃった!」

佐久間「あれ?皆揃ってって! 不動と辺見何でお前ら...!？」

春奈「願い事は、この写真ください!」

成神「はいwww」

春奈「きゃー!」

辺見「まてっ。これは事故で唇が触れただけ」

源田「キスかwww」

不動「なっ! 辺見てめえあとで殺す!」

辺見「は!?! 普通成神だろ!?!」

ピルルルッ

逃がさない

「風丸くん逃がさないよ!!」

「はあっはあ！」

「ふふつ。風になろうよ」

「っ!？」

『風丸 一郎太

商店街裏で確保

頑張ってくれ。』

「残念だったね。
風丸くん！」

「くそっ!
吹雪やるなっ！」

八神目線

あれは…

「雷門 夏未だったか？」

「あら、貴女は…。」

「まあ、いい。願い事あるか？」

「そうね。話を聞いてくださらない？」

「構わない。」

残り時間は15分

「あ、あの…田堂くんにごうしたら気持ち伝えられるかわからないのよ…」

「素直になれ。」

「わ、わかってるけど…」

「これを打ち明ける勇氣があるなら出来る筈だ。」

「わ、わかったわよ。」

「これ、初めて人に相談しただろう。」

「な、そうよ。」

「ありがとう…な。」

「貴女はお礼なんて言わなくていいのよ。お礼を言うのは私のほう
だわ。」

ありがとう。」

八神 玲名 ミッション クリア 雷門 夏未の願いを
叶えた ミッション クリア

『ミッションクリアしたみたいだな。』

おめでとうと言っておじう。

今のはわざと簡単にしてあったんだが…

逃走者に鬼道 有人が加わる。

頑張ってくれ。』

逃走者

- ・ 涼野
- ・ 南雲
- ・ 松野
- ・ 半田
- ・ 源田
- ・ 八神
- ・ 成神
- ・ 基山
- ・ 緑川
- ・ 鬼道
- ・ 佐久間
- ・ 亜風炉

以上

亜風炉とスタッフの雑談

「僕って出番ないねw」

当たり前です。

そんな所に隠れているんですから。

「そっか。まあ、世の中○だから。」

ちよ、あなた一応子供向けアニメのキャラクターですよ？

「いいんだよ。どうせ 放送禁止」

放送出来なくなりましたよ？

全く。じゃあ、次話に行きましょう。

さよなら！

「え、あ、またね！」

次回へ。

ミッション(後書き)

最後本当に亜風炉忘れてたorz

出番増やして欲しいキャラいたら増やそうかなあ。

と、思ってたm)()(黙

では、次回！

涼野、南雲中心*緑川

涼野目線

全く。

何故緊張感がないんだ？

考えた結果が、

- ・みなれた町だから。
- ・ハンターが友達だから。
- ・ハンターに追いかけてないから。
- ・危険にさらされてないから。

よくわからないが。
多分こんな感じだろう。

て、円堂じゃないか？

「逃走者発見！

涼野ー！ 南雲ー！」

あのバカ。

「さっさと逃げるぞ。晴矢」

「おう！」

あいつはGKだ。FWの私達には追いつかないだろう。

南雲目線

あいつはGKだから、追いつかないと思ってただけだよ。

あいつの、円堂守の性格。

諦めない。

だろ？

見つけた時から多分10分はたってる。

間隔は結構ある。

くそっ！ 諦めろよ！

「円堂守。」

こんな言葉を知ってるか？
諦めがかんじん。

ってね！」

この声

「緑川！？」

「何故お前が……」

「いや。涼野と南雲にはお世話になってるからね。
助けようと思って。」

「バカつ。私達なら大丈夫だから早く逃げろ！」

「来ちゃったからにはちゃんと助ける！」

「緑川……。」

「わかったよ。」

「俺たちは行く。」

緑川、お前…捕まるなよ！」

「大丈夫！」

そして、俺たちは逃げた。
気が付けばそこは稲妻病院。

「なか、はいるか？」

「一応入ってみよう。」

緑川目線

「さあ。おいで、円堂守っ！」

「ああ。いくぞ！」

大丈夫。相手はGKで体力を結構使ってる。

余裕だ。

「ライトニングアクセル！」

「っ？」

円堂は、不思議そうな顔をする。何処かへ消えた。

「…何だったんだ？」

まあ、いつか。

その時、携帯がなった。

『佐久間次郎、源田幸次郎確保。
商店街で確保。』

頑張ってくれ』

へ……？

佐久間と源田がつかまった！？

え。あの2人足速いよな…？

いつ捕まるかわからない。恐怖

耐えられるか？

ダメだ。ヒロト探そう；

「ん、緑川…？」

「あ、成神だっけ？」

「そ。一緒に行動しない？」

「え？ う、うん。」

「大丈夫。辺見みたいにはしないよ。」

「う、うん…」

「行くうか。」

「何処に？」

「え？」

それは、病院。」

「なんで？」

「屋上からハンターとか皆を確認しようと思って。」

「なるほど。」

「いきましよう。」

「うん。」

牢屋タイム*

牢屋メンバー

- ・砂木沼
- ・辺見
- ・佐久間
- ・源田

佐久間「よっ！ みんなの嫁こと佐久間次郎だ！」

源田「帝国のオカンこと源田幸次郎だ。」

辺見「何でそんなテンション高いんだよ。」

佐久間「読者様のためb」

砂木沼「良いこと言うじゃないか。」

じゃーん！

辺見「お！ 咲山！」

咲山「なんだよデコ」

佐久間「うるさいぞデコ！」

源田「よく来たな、咲山。」

咲山「まあ。」

砂木沼「お前ら落ち着きがないぞ？」

辺見「何一人でお茶してんだよ！」

佐久間「お、俺もまぜてw」

源田「こたつがあるぞ。」

咲山「こたつにミカンにお茶。」

辺見「あ、の皆さん？」

佐久間「ミカン甘い！」

不動「それ俺の実家のミカンWWW」

佐久間「不動ナイスだ！」

源田「うまいな。」

砂木沼「こたつにバナナもうまいぞ。」

不動「バナナ食う！」

ワイワイガヤガヤ

辺見「俺、アニメではこんなキャラじゃないのになあ……。」

終わるWWW

再びミッション？

『今からミッションをおこなう。』

今から15分以内に、稲妻町の駅前、商店街、雷門中、病院にあるボックスを全て開けられたら、逃走範囲を広くする。

開けられなかったら、逃走時間を増やす。

しかし、賞金はあがないから気をつけてくれ。

と、言うことで頑張ってくれ。』

「ふざけるなああ！！」

こっぴどんだのはウルビダ。

「だから、事故だつてばw」

こっぴど主張するのは基山ヒロト。

「なぜお前と・・・っ」

「だから正面衝突は事故だってw」

「もう生きて行けない。」

「そんなw？」

「当たり前だ！」

「ひどいなあw」

「ま、まあ、落ち着かない？」

「こう言う緑川。」

「そつだよ、れいな？」

「ふざけるなお前のせいだろ！（蹴）」

「いっしょー！」

「行くぞ、リュウジ。」

「え、う、うん。」

病院*涼野・南雲・緑川・成神

始めは2ペアだった4人は院内で会って一緒に行動していた。

涼野 「ここにボックスがあるなら、ハンターがくるはず。」

緑川 「確かにね。」

南雲 「さっさとボックス見つけて逃げようぜ。」

成神 「それが普通だね」

涼野 「・・・行くか。」

┆ ミッション開始から3分 経過 ┆

南雲 「やっぱり簡単にはみつかんねえか。」

涼野「手分けするか。」

緑川「でもそれじゃあ、4人でのハンター攻略法使えないね。」

成神「まあ、それぞれ技もってますし、蹴るものも見つかりましたし。」

大丈夫じゃないですか？」

涼野「その通りだな。」

緑川「わかった。終わったら401号室？」

南雲「いいぜ。」

緑川「じゃあ、終わったら集合で。」

成神「さようなら。またあとで。」

- 南雲 -

ったく、何でこんなことしてんだよ・・・。

かるく一時間半以上は残ってるのか。

めんどくせえな。

自首・ありだったか？

ん？メールか・。

「ハンターボックス解除 雷門中 商店街 駅前」

・・・は？ 一気に3つ!?

「・・・つ晴矢!」

「風介! 一気に3つってどう言うことだと思っ?」

「罨か、まとめてメールしたか。どっちだと思っ?」

「まとめてだと信じたいな。」

「病院のハンターボックスも見つけたみたいだし、逃げるぞ。」

「え、マジか？」

「嘘じらびしゅるっ？」

「行くぞ。」

病院*涼野・南雲・緑川・成神(後書き)

何がしたいんだろうか。

成神キャラ違っし。

もう嫌だww

助けて風すく(涼「嫌だ。」
うわ、ひでえw

次回、てるみん復活

お楽しみn(蹴

イナイレ4期入ったのに何か時代違う気がする

キャプテン拓人かわええ！ 蘭丸きゅんヤバイ^q^

神童拓人って神童って^p^

霧野蘭丸やばい男の娘ですね、はい^q^

剣城京介可愛いなあw

明王とかエスカとかバダップとかまぜまぜだなあw

くそかわいいな。声優様^^

あ、それてる^ ^9m

照美とここまでを振り返る

やあ、亜風炉照美だよ

今皆がどこにいるかの説明を頼まれたから説明するね。

まずは、

佐久間くん、源田くん、砂木沼さん、デコ見（辺見）、咲山くん、
風丸くんが牢屋内。

牢屋外には不動くんが居るよ。

駅前には、

涼野、南雲、緑川くん。

商店街には、

鬼道くん、ヒロトくん、半田くん、松野くん。

公園には、

八神さん。

雷門中には、

僕。

大通りには、
成神くんと吹雪くんと円堂くん。

いやあ。成神くん大変だね。

次回は成神くん中心

だって。いつになったら鬼道くんうつるんだろっねー！

大通り*成神・吹雪・円堂

ヤバい．．よな。

俺はいま厄介なハンター・吹雪。よくわからないハンター・円堂に
でくわした。

運悪っ．．。

吹「さあ、どうする?」

どうするって言われても．
逃げるしかないだろ。

成「もちろん、逃げますよ?」

吹「．．そう。じゃ、僕は手加減しないから頑張っ
てね^^」

なんか、寒気がしてきた

円「じゃ、吹雪あとはよろしくな！」

吹「わかった、キャプテン！」

ええ・・・!

円堂どっか行っちゃうのかよww

まあ、ピンチなのにはかわりないか・

吹「じゃあ、行くよ・・・?」

成「・・・どうぞ?」

吹「スノーエンジェル！」

成「キラーライド！」

その後しばらくはこれが続き、

吹「はい、捕まえた。」

成神は捕まってしまった

「じゃ、またね」

と言が残し、吹雪はさっさといった。

「あーあ、捕まっちゃったんスね。」

そうして、成神は牢屋組になったとさ（ ）

次回

やっとうつるよ鬼道さん！
お楽しみに

商店街：鬼道、基山、松野、半田

「あ、鬼道くん！」

そう言つて手をぶんぶん振る、赤い髪に白い肌の少年、そう、基山
ヒロトだ

鬼「ああ、ヒロトか。」

基「一緒に行動しない？」

鬼「・・・だが断る。」

基「ちょ、酷いｗｗ」

鬼「冗談だ。別に構わない。」

基「冗談に聞こえなかったのは、気のせいだよな、うん。」

鬼「なんか言つたか？」

基「別に、何も！」

鬼「そうか？　じゃあ、いくぞ。」

基「うん！」

そして

鬼「ん、あれは．．」

基「半田くんだね！」

鬼「．．あ、松野も居るみたいだぞ」

基「ほんとだ、おい、半田くん、松野くん！」

鬼「叫ぶな馬鹿。」

基「あ、ごめんww」

半「あ、鬼道とヒロトか。」

松「僕達今隠れる策でいつてるよ！」

基「へえ．．俺達はさっき会ったばかりだよ！」

鬼「まあ、少人数でいた方がいいだろうし、頑張れ。」

松「わかった、じゃあバイバイだね！」

半「鬼道達も頑張れよ？」

鬼「ああ、もちろんだ。」

基「お互い頑張ろうね！」

そうして別れた二組。

特に、ハンターを見ることもなく、安全な場所を探していた

商店街：鬼道、基山、松野、半田（後書き）

ハンターさん達は牢屋前にて話し合いしてるみたいですよ。

さて、どうなるんでしょうか・・・？

話し合い in 牢屋前！

吹雪

「僕は別にいれば捕まえる、でいいと思うけどなあ。」

不動

「油断させておく作戦もあるだろう？」

円堂

「よくわかんねーや！」

それより、はやく捕まえに行こうぜ！（キラキラ）

「「ちょっと待っててね（待ってる）」

円「わかった！」

吹「じゃあ、そう言っついでー！」

明「ああ、作戦開始だ」

円「今から頑張ってつかまえるぞ！」

残り時間は、あと60分。

*半田、松野

半「あ、あと一時間だよ。」

松「あ、ほんとだ。」

半「俺たち、勝てるかなあ？」

松「勝てるんじゃない？ 人数的に。」

半「そう、か？」

松「何、心配なの？」

半「そりゃな。」

松「大丈夫、半田が捕まりそうになっても、僕が守るから！」

半「マックス・うん、ありがとな。」

松「いーえ。」

話し合い in 牢屋前！(後書き)

次回は、
久々のミッション

ミッションなう！

こちらてるみん、
ただいまミッション中なう！

なんてね、あははww

はい、只今ミッション中。
聞いてみれば、各エリアにいる重要参考人に話をきいて、ボックスのナンバー式のロックを解除して、ハンターを増やすなってミッションだよ！

ボックスは全部で2つ

重要参考人は全員で6人

大変そうだな・・・

残り30分までに解除出来なかったら、1つのボックスにつき11人も増えるらしい、解除しなきゃ絶対捕まっちゃうね

と、いうことで！

また地下に隠れます！

またねーっ

ミッション、そしてラストスパート（前書き）

今気付きました

ミッションに取り組んでる様子を書いてない！

ごめんなさい

更新遅れたのに更に書き忘れ・・・

本当にすみません！

ミッション、そしてラストパート

半「ミッション．．失敗!？」

まさか、とは思ったが失敗らしい。

半「絶体絶命じゃんか、どんだけハンターが放出されると．．!」

22人も増える、のか。
残り時間は、後5分!

逃げ切れる可能性はまだある。

よし、頑張るか!

ピルルル．．
メールだ、誰か捕まったのか?

「 駅前、涼野南雲緑川

公園内、八神

雷門、亜風炉

大通り、基山鬼道 』

半「え．．」

松「．．残るは僕ら2人、か」

半「やばいよ．．」

松「き、たみたい．．」

半「!?!?」

「みーつけた!」

松「半田! まだ逃げられる! 逃げて!」

半「マックスも逃げるぞ!」

松「僕はいいから! 逃げて!」

半「なんで．．!」

松「早く!」

半「．．わかった、ごめん!」

そう言っつて走り出した。

ハンターはそこらじゅうに居る。

どう逃げるか? テクニックが重要だろう

．．くそっ！

四方八方から来られたら逃げ道が無いじゃねえか！

松『半田、上だよ！ 上に跳ぶんだ！』

マックスの声？

上に跳べって．．でもまあ、やるしかないな！

半「うおりゃあああ！！！」

「なっ！ とんだ！？」

半「失礼！」

そう言っつてハンター達の肩を踏み台にして、とび続けた。

残り時間は、後1分。

体力的にもうそろそろとび続けるのは辛い。

だけど走って逃げたら捕まるだろうし

でもこのままだと足を捕まれて終わりって言う可能性もある、だっ

たら．．

思いっきり踏み込んで、建物に登る。

こちら辺の建物はとんだら届きそうな所にベランダがあるし、そこから梯子でさらに上に登れる建物もあるから、生命関係はまあ、安心して大丈夫だろ！

半「とりゃー！」

よし、成功！

残り時間後30秒！

さらに上にのぼるか。

ハンター追いかけて来そうだし。

よっと、うん。

みわたすかぎり屋根だな

後10秒

9

1 2 3 4 5 6 7 8

終
つ
た

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1942p/>

イナズマイレブン逃走中！

2011年12月20日00時50分発行